

地域スタイルにあった地材地消の取組 ～農・林業の連携から生まれる地域産木材活用セミナー～

網走東部森づくりセンター普及課（前釧路森づくりセンター音別事務所） 只野泰光

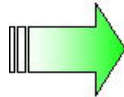
地域の背景・目的

林業分野

- ・カラマツ資源の充実
- ・管外・道外へ移出される木材

農業分野

- ・酪農業に適した冷涼な気候
- ・経営規模の拡大



林業分野

- ・木材が持つ優位性の理解
- ・地域関係者の連携

農業分野

- ・自然と調和した経営環境と食の安全と安心
- ・資源リサイクル等の循環型酪農経営の構築

活動の内容・成果

活動の内容（合意形成に向けた取組）

- 巡回指導を活用した検討会への参加要請
 - ・森林所有者，酪農家，建築設計士など
 - ・地域の背景と課題の情報収集
- ネットワークづくり検討会開催
 - ・意見交換会による合意形成
 - ・地域材利用推進のPR方法の検討
- 地域材利用推進検討委員会の設立
 - ・酪農後継者との情報交換
 - ・地域産木材の利用促進
- セミナープログラムの検討
 - ・検討委員会紹介の講師の活用
 - ・酪農後継者からの事例報告
- セミナー参加の働きかけ
 - ・農業関係者への協力依頼
 - ・巡回指導を活用したセールスパーソン
- セミナーの開催
 - ・酪農家など90名出席



ネットワークづくり検討会



セミナーでの意見交換会

活動の成果

- セミナーによる共通した認識
「道産材への期待」と地域産業活性化のために「地域の木材は、地域で消費」
「木材が持つ優位性を理解」「地域スタイルに合い自然と調和した酪農郷を形成」

■ 共通した認識後の効果

平成16～19年度建築数（哺育舎・育成舎・成牛舎・乾乳舎・堆肥舎）
24棟（内訳：浜中町13棟・弟子屈町1棟・標茶町1棟・鶴居村9棟）

平成20年度建築予定数（育成舎・成牛舎）

8棟（内訳：白糠町1棟・釧路市音別町2棟・釧路市阿寒町1棟・浜中町1棟・標茶町1棟・鶴居村2棟）

※ 建築実績のない地域からセミナーに参加していた酪農後継者より建築予定の確認

今後の展開

- 地域材利用推進検討委員会との連携と活動支援
- 木材が持つ優位性の集約とサイクルコストの算出とPR用パンフの作成